



おっぱい通信

第13号
2010年8月
大阪南医療センター
母乳育児支援委員会

大阪南医療センターは、WHO/ユニセフより
「赤ちゃんにやさしい病院」(BFH)
に認定されました！！

表彰式の様子



BFHIとして、引き続きお母さんと赤ちゃんが安心して母乳育児できるように、「母乳育児推進のための10か条」を実践します。

母乳育児を成功させるための10か条

1. 母乳育児についての基本方針を文章にし、関係するすべての保健医療スタッフに周知徹底しましょう。
2. この方針を実践するために必要な技能を、すべての関係する保健医療スタッフにトレーニングしましょう。
3. 妊娠中の女性すべてに母乳育児の利点とその方法に関する情報を提供しましょう。
4. 産後30分以内に母乳育児を開始できるよう、母親を援助しましょう。
5. 母親に母乳育児のやり方を教え、母と子が離れることが避けられない場合でも、母乳分泌を維持できるような方法を教えましょう。
6. 医学的に必要でない限り、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
7. 母親と赤ちゃんと一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう。
8. 赤ちゃんが欲しがるときに欲しがるだけの授乳を勧めましょう。
9. 母乳で育てられている赤ちゃんに人工乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。
10. 母乳育児を支援するグループ作りを後援し、産科施設の退院時に母親に紹介しましょう。



2010年7月31日、8月1日に仙台で「母乳育児シンポジウム」が開催され、WHO/ユニセフより表彰を受けました。ピカノ画「母子像」の「トグラフ」は、病院内2階に掲示されます。



BFHとはBaby Friendly Hospitalの略で、『「母乳育児成功のための10か条」を実践しているとWHO/ユニセフに認められた施設』です。今後は、BFHI (Baby Friendly Hospital Initiative) 「赤ちゃんにやさしい病院運動」としての活動が重要です。BFHIとは、病院、保健サービス、そして親が協力して、赤ちゃんが人生の最良のスタートを切れるように保証するための世界規模の運動です。そして、母乳育児を保護、推進、支援するような実践が行われることを目指しています。